

レジメン名称(Kd (週 1 回投与) q4w)

多発性骨髄腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日 1 コース 4 週間			
		Day 1	8	15	22 ~ 29
カイプロリス	1 コース目 day1 のみ 20 mg/m ²	↓	↓	↓	
	1 コース目 day8以降 70 mg/m ²				
デカドロン(内服)	40 mg/body	↓	↓	↓	↓

体表面積 2.2 m² を越える患者では、体表面積 2.2 m² としてカイプロリス投与量を算出する

10 コース目以降は day22 のデキサメタゾンを投与しない場合がある

レジメンオーダー以外に必要な処方

デカドロン 40mg day1、8、15 : カイプロリス投与 30 分前

デカドロン 40mg day22 : 1×朝食後

注意事項

Infusion reaction (発熱, 悪寒, 関節痛, 筋痛, 顔面潮紅, 顔面浮腫, 嘔吐, 脱力, 息切れ, 低血圧, 失神, 胸部絞扼感, 狭心症等) があらわれることがある。

初回および 8 週以上あいた時 : 心電図モニター、BP、HR などの確認の必要あり (詳細は投与方法の項を参照)

溶解時は泡立つため、注射用水をバイアルの内壁に当てながら緩徐に注入、バイアルを緩やかに転倒混和し、泡立ちが生じた場合には、泡が消えるまで約 2~5 分間バイアルを静置すること。

投与方法 : 1、8、15 日目	
1	デカドロン 40mg 内服 カイプロリス開始 30 分前に
2	生食 100mL ケモセーフロック (フィルター付き) の点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、メインルートを止める
3	カイプロリス _____ mg, 注射用水適量、5%ブドウ糖 50mL (100mL 製剤ボトルから 50mL 抜き取って使用) 注射用水で溶解 : 10 mg/5mL, 40 mg/20mL (2mg/mL) 30 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 初回および 8 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、終了時後 : BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、終了時後 : 全身状態の確認 (呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
4	2 の生食を使用し、メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄